

今月のトピック

新年度に向けた所信

院長 大田 健

令和5年4月になって年度が替わり、複十字病院は私も含めて新たな気持ちで新年度を迎えています。お正月ではないので干支の話を持ち出すのも変ですが、令和5年を「十干十二支」であらわすと「癸卯（みずのとう）」になります。「癸」は一つの物事が終了して次の物事への移行をしていく段階を表し、「卯」のうさぎは「茂」という時期で、繁殖するという段階に相当します。したがって、その両方を備えた「癸卯」は、昨年までの様々なことの区切りがついて成長や増殖といった明るい世界が広がる次の段階を迎えると解釈できます。令和2年2月13日に清瀬地区では最初のCOVID-19の患者さんが当院に入院されて以来足掛け3年間、病院の総力を上げてCOVID-19に対してできる限りの対応をして参りました。幸いに年々ワクチンと治療薬の開発が進み、ワクチン接種も拡大して恐怖の極みにあった感染症が何とかなる感染症になったのです。ポストコロナということが絵空事ではなくなり新たな気持ちで医療体制を整備して、コロナ以外の我々の得意とする専門領域で皆さんの病気の治療と健康の維持にしっかりと注力できる時が来たのです。季節を告げる豊かな自然に囲まれた当院の環境を活かして、地域の中核病院に相応しい内容で、安全で快適な医療を実行するべく努力して参ります。皆さんの病気だけでなく健康の維持と増進にも貢献できる病院としてさらに発展したいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



新入職員オリエンテーション

事務部庶務課 オリエンテーション事務局 松田 源太

4月3日（月）～4月5日（水）にかけて新入職員オリエンテーションを実施しました。

連日の降雨により桜は散り気味となっておりますが幸運にもオリエンテーション中は一度も雨天にならず絶好の小春日和でした。

当日は医師や看護師だけでなく様々な職種の職員にご参加いただきました。

写真は3日目に行われた院内オリエンテーションの一部になりますが、皆さん3日分の疲れを感じさせることなく真剣に傾聴されている様子でした。

残念ながら今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により新入職員歓迎会の桜まつりは中止となりましたが、来年度は開催できることを祈るばかりです。

末筆になりますが新入職員の皆様、ご入職誠におめでとうございます。




 すが はら しん や
菅原 真哉

 ●担当科／麻酔科
●所 属／中央手術部 部長

▶患者さんへのメッセージ

4月1日より中央手術部長に就任致しました麻酔科医の菅原真哉と申します。昭和54年日本医科大学卒業後、同大学付属病院—防衛医科大学校病院で教育職を勤めた後、NHO東京病院で手術部長として、それぞれ約15年間 計45年間勤務し、今年度より複十字病院勤務となりました。麻酔科専門医ですが、これまでに救命救急センター出向、医師として2年の英国留学（University Hospital of Wales）、1年間の横須賀共済病院出向もあり、それぞれの勤務先でも医療を学んでまいりました。また昨年、東京病院ニュース86号では地域の皆様に「挿管困難症」について発信いたしました。お読み頂けたら幸いです。

複十字病院は歴史のある素晴らしい病院（尾身理事長）、地域に近い病院（大田院長）であり、私も微力ながらお役に立ちたいと思います。以前に比較すると麻酔は安全になりましたが、その分、高齢者・高リスク患者も手術対象になり、それが可能になったのは殆ど麻酔の進歩のおかげです。昨年度を振り返ると90歳以上約20名が手術を受けられました（東京病院にて）。同年齢の患者さんともそれ以上のかたも年寄り同士頑張って生きていきましょう。宜しくお願いいたします。

 い さか ひろ つく
伊坂 泰嗣

 ●担当科／乳腺外科
●所 属／乳腺センター
副センター長

▶患者さんへのメッセージ

4月より乳腺センターに参りました、伊坂泰嗣です。

杏林大学を卒業後、呼吸器・乳腺・甲状腺・食道外科へ入局し、6年目以降、乳腺外科を中心に診療させていただき、最近は大学で診療の傍ら、学生の授業や、指導も行っておりました。また、多摩地区で開催される乳癌の勉強会の世話人もいくつか務めさせていただいております。

乳癌は年間約95,000人が罹患しています。手術は乳房全摘出から乳房温存術へ、さらに乳房再建術併用、遺伝的要因を有する方のみ予防的乳房切除までと変化をしてくれています。また、乳癌はその性質や遺伝子を個別に調べ、個人ごとの治療オーダーを組む必要が高いタイプの癌であることから、治療の内容や必要性をきちんと理解していただくために、患者さん自身へしっかりとわかりやすい説明ができるようにと考えております。

本来、病院外来受診は、患者さんにとって気が重くなりがちだと思いますが、緊張を減らし少しでもリラックスして説明が聞いていただけるような外来診療を目指しています、明日の外来受診が楽しいイベントに変換されるような外来診療を心がけています。

今後ともよろしくお願いいたします。

 すが わら れい こ
菅原 玲子

 ●担当科／呼吸器内科
●所 属／呼吸器センター
専門役

▶患者さんへのメッセージ

4月1日より呼吸器センターで勤務することになった菅原玲子と申します。出身は大阪府で、1999年に大阪医科大学（現大阪医科薬科大学）を卒業後、大阪大学呼吸器・免疫内科に入局し呼吸器内科医として研鑽を積んできました。複十字病院に赴任する前は、大阪府堺市にある近畿中央呼吸器センターで慢性呼吸器疾患やリハビリテーションを中心に患者様の診療にあたっていましたが、この度は夫の転勤に伴い東京に転居して複十字病院にご縁をいただきました。自然に恵まれた歴史ある病院で働けることを大変光栄に思っています。

私はかつて小児喘息を患い、小学生の頃は発作で入退院を繰り返しておりました。母が心配して涙していた姿は今でも忘れられません。成長に伴い喘息の症状は消えて健康になりましたが、病院や医師に助けられた経験から進路を選ぶ際に医学の道を志しました。今では喘息も、吸入ステロイドや分子標的薬などの新しい薬のおかげで、私の小児期と比べて症状がコントロールしやすくなっています。日進月歩の医療の世界で、私自身、患者様が困難な時に力になれる医師として成長するために、今後も研鑽を続けて参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

なが の あつ ひろ
永野 惇浩



- 担当科／呼吸器内科
- 出身地／大阪市
- 出身大学、卒業年／千葉大学 2019年卒

▶大学卒業後の主な経歴

江東病院で初期研修終了し、日本医科大学呼吸器内科に入局。以降、日本医科大学付属病院・日本医科大学千葉北総病院に勤務しました。

▶専門医・認定医資格

なし

▶趣味及び特技

ダンス・バイク

▶患者さんへのメッセージ

みなさまの病状・生活を助ける力になればと思います。よろしくお願いいたします。

せり ざわ ゆう すけ
芹沢 悠介



- 担当科／呼吸器内科
- 出身地／群馬県
- 出身大学、卒業年／防衛医科大学校 2016年卒

▶大学卒業後の主な経歴

防衛医科大学校病院・自衛隊中央病院・三宿病院で初期臨床研修を修了。自衛隊医官として陸上自衛隊八戸駐屯地、国立感染症研究所 実地疫学専門家養成コース、防衛医科大学校病院で勤務。

▶専門医・認定医資格

なし

▶趣味及び特技

筋トレ、ダイビング

▶患者さんへのメッセージ

丁寧な医療、誠実な対応を心掛けております。どうぞよろしくお願いいたします。

いがらし しゅん や
五十嵐 駿也



- 担当科／呼吸器内科
- 出身地／静岡県
- 出身大学、卒業年／防衛医科大学校 2017年卒

▶大学卒業後の主な経歴

卒業後、防衛医科大学病院で2年間の初期臨床研修。以降は奥尻島分屯基地+奥尻町国民健康保険病院、静浜基地、大学病院で勤務。

▶専門医・認定医資格

なし

▶趣味及び特技

旅行、植物鑑賞

▶患者さんへのメッセージ

一生懸命取り組んでまいります。何卒よろしくお願いいたします。

とき た のぞみ
時田 望



- 担当科／呼吸器内科
- 出身地／東京都
- 出身大学、卒業年／東邦大学 2020年卒

▶大学卒業後の主な経歴

東邦大学大森病院で初期臨床研修後、同病院呼吸器内科に入局。

▶専門医・認定医資格

なし

▶趣味及び特技

写真

▶患者さんへのメッセージ

患者さんやご家族に寄り添う医療を心がけております。よろしくお願いいたします。

も う え い おり
馬上 伊織



- 担当科／呼吸器内科
- 出身地／神奈川県
- 出身大学、卒業年／杏林大学 2019年卒

▶大学卒業後の主な経歴

杏林大学医学部付属病院で初期臨床研修終了後、同院呼吸器内科へ入局。以後は西多摩病院、陵北病院で勤務。

▶専門医・認定医資格

なし

▶趣味及び特技

映画鑑賞

▶患者さんへのメッセージ

患者さんの心に寄り添う医療を心掛けております。宜しくお願いします。

複十字訪問看護ステーションの紹介

複十字訪問看護ステーション 管理者 **下田 洋子**

当ステーションは、1996年に院内の訪問看護科として開設されました。2011年に訪問看護ステーションになり、訪問看護を開始して、27年目になりました。

訪問看護は、病気、障害をお持ちの方や高齢者が住み慣れた自宅で安心して暮らせるように、主治医の治療方針と指示に沿ってご本人、ご家族の意思を確認し看護やリハビリを行います。

現在、関係医療機関40か所、関係居宅介護事業所40か所と連携を取り、利用者さんが安心して在宅療養出来るよう支援しています。

利用者の平均年齢は、男性：80歳・女性：83歳です。高齢者社会に伴い、主疾患に認知症が合併していることが多くなっています。老々認々介護（老人が老人を・認知症を認知症が）も珍しくなく、高齢独居世帯が増えています。

複十字病院と連携し、【住み慣れた我が家でその人らしく、安心して療養できる】ことを目的に24時間体制でサポートしていきます。

訪問地域

病院より約片道5km圏内



複十字病院は
公益財団法人結核予防会の病院です

予約・紹介のご案内

■ 受付時間

平日 8:30~17:00 土曜日 8:30~12:00

■ 医療機関・紹介状をお持ちの患者さんのご予約

電話 042-491-9128

FAX 042-491-3553

■ 再診・初診（紹介状なし）のご予約

電話 042-491-6228

複十字病院

T204-8522

東京都清瀬市松山3-1-24

代表電話 042-491-4111

代表FAX 042-492-4765



交通のご案内

■ 電車でお越しの方

・西武池袋線『清瀬駅南口』より徒歩
12分

または、バス『南口2番乗り場』より
3つ目『複十字病院前』下車

・JR中央線 武蔵小金井駅より『清瀬
駅南口ゆき』バス『保育園入口』下車
バス停より徒歩5分

■ お車でお越しの方

・小金井街道『清瀬高校入口』信号を曲がり 西に300メートル

・所沢街道『全生園東』信号を曲がり病院通りを東北に2キロメートル